

ユーマア賞 「昭和と平成」

福島 勇さん (埼玉県)

昭和の土門拳作品と平成の子ども、真面目な観覧者とだ
らける子どもの対比が良い。厳格なイメージの美術館に
そぐわない行動に、ピリっとした面白さがある。



ドキュメント賞



「人間の鎖作戦」

梅津 勘一さん (錦町五丁目)

タイトルから絆やつながりの大切さが見える。一人ではなくみんなで取り組むことで
生まれるエネルギーを感じる。作品全体に曲線の面白さがある。

佳作



「喜び3倍」

田代 みどりさん
(宮野浦一丁目)



「酒田祭り3景」

土井 栄美里さん (光ヶ丘一丁目)



「秋日和」

三浦 民雄さん (新橋二丁目)



「松原四季彩」

佐々木 吉治さん (若宮町二丁目)

「雑魚しめ」

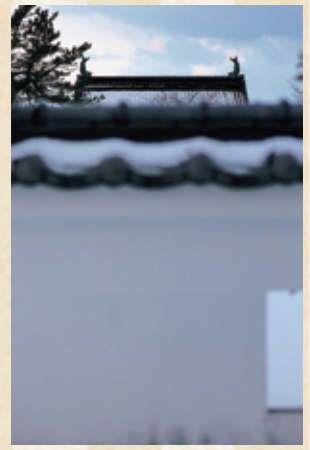
三澤 清明さん
(駅東二丁目)

合併10周年 記念賞

「胤保翁探訪」

塚越 文昭さん (字内町)

合併したことで酒田に城下町文化が加わったことを実感させる。松森胤保という郷土の偉人を、作品を通して知ることができる。雪を被った像の感じがいい。



新人賞

「納涼まつり」

高橋 良政さん (住吉町)



「運命の二人」

神田 潤さん
(新橋二丁目)



「雄姿」

齋藤 悟さん
(字金谷)



「別れはいやだ」

柏舘 光子さん
(福島県)



「市民から ありがとう」

富樫 きく子さん
(北新橋二丁目)

ジュニアの部 特選



「錆=勲章」

石山 直樹さん (酒田光陵高校)

虫の目で撮影することで、うち捨てられたものの存在感が増している。錆を勲章と捉える感性が新鮮。高校生らしからぬタイトルにも惹かれる。

ジュニアの部 入選



「稲刈り体験」

富樫 菜々子さん (酒田西高校)

若い人は風景や静物を撮影する作品が多いが、あえて子どもを被写体にした点が評価できる。子どもの表情がいい。



「時の流れ」

松田 春花さん (酒田西高校)

ツタと窓に映る空が美しい。何気なく見ればただの古い建物だが、写真になることで新たな発見が生まれる。



「ゆうゆう・かんかん」

佐藤 和輝さん (酒田東高校)

力強い作品。左右対称に撮ろうという狙いが感じられる。時間を感じさせないのが面白い。タイトルの意味が気になる。